

## 1 月 22 日の新年会でお会いしましょう



チェロ、ピアノ、ソプラノの 3 人が出演します

新年会当日はソプラノ、ピアノ、チェロの女性 3 人が出演。上田高校の校歌、応援歌も演奏してくれる予定で、楽譜を取り寄せ 10 月下旬から練習を始めたそうです。ソプラノ歌手による上田高校校歌は皆さんも聞いたことがないのではないのでしょうか。

「きらら」は「雲母」のことで、命名された国語の先生は上田高校出身だそうです。

小諸高校音楽科は、県立高校に特色を持たせる目的で、1995 年に県立高校校の卒業式、ライオンスクラブのイベント、県同窓連總會などで演奏活動を続けています。現在の会員は約 40 人。

「きらら」のメンバーによる演奏会です。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

小諸高校音楽科は、県立高校に特色を持たせる目的で、1995 年に県立高校

「きらら」のメンバーによる演奏会です。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

## きららの会の演奏をどうぞ

小諸高校音楽科卒業生有志

としては唯一併設されました。卒業生は在学中 3 年間の個人指導を受けた後さらに国内外の大学に進み、研さんを積みそれぞれの道に進んでいます。

### 【竹内直美】(ソプラノ)

東京芸術大学音楽部音楽科卒 日本音楽家協会修了 声楽アカデミー会員 現在ソリストとしてオペラに出演 音楽専門学校ボイストレーナー

### 【今井麻耶】(ピアノ)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒 日本大学芸術学部博士課程修了 第 10 回日本アンサンブルコンクール弦楽ピアノデュオ部門入選フリーで演奏活動

### 【松谷明日香】(チェロ)

国立音楽大学音楽学部器楽学科チェロ専攻卒 第 10 回日本アンサンブルコンクール弦楽ピアノデュオ部門入選 東京ニューシティ管弦楽団チェロ奏者



### 【交通】

●地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線の神保町駅下車

A 9 出口 徒歩 3 分

●地下鉄東西線竹橋駅下車

1 b 出口 徒歩 4 分

【日時】1 月 22 日 (木)

18:00 受付開始

18:30 開会

19:20 懇親会

【会場】東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

日本教育会館 9 階 喜山倶楽部

【会費】5,000 円

# 第53回総会に259人

## 吹奏楽団が関東初公演

### 松原氏 83期 宇宙を語る

関東同窓会は6月29日、第53回総会・懇親会を東京都千代田区如-water会館で開いた。前年を上回る44期から109期までの259人が参加した。

総会に先立ち、2013年に日本天文学会の最高賞とされる林



笑いが会場を包んだ。

講演はビッグバンで始まった宇宙の誕生と未来という壮大なテーマ。宇宙がどうやってできたかを研究することが大きな分野であり、現在の宇宙の年齢が138億歳であることが最近分り、宇宙論はすごい勢いで発展していることなどが紹介された。

参加者は10億年、1兆年、100兆年という天文学的な数字が飛び交う中、遠い未来に宇宙がどうなるかという興味深い話に耳を傾けた。

続いて開かれた総会では

任期満了となった滝澤進会長（61期）が「課題は若い世代に関心を持ってもらうこと。関東同窓会が都会のオアシス的な存在になるよう、皆さんに基盤づくりに尽力していただきたい」とあいさつした。

新任満了となった滝澤進会長（61期）が「課題は若い世代に関心を持ってもらうこと。関東同窓会が都会のオアシス的な存在になるよう、皆さんに基盤づくりに尽力していただきたい」とあいさつした。

新会長に高梨奉男氏（62期）、丸山暢久幹事長（65期）の後任に倉沢裕氏（69期）がそれぞれ選出された。

隣の大ホールに移つての懇親会は、2013年度県代表として東海大会に出場を果たした上田高校吹奏楽班の現役40人が、関東同窓会で初めて演奏を披露。全日本吹奏楽コンクール課題曲のほかマーチなどを演奏。クラリネットアンサンブルによる「となりのト

## より多数が集う

### 同窓会に

関東同窓会会長 高梨奉男

あけましておめでとうござい

ます。関東同窓会第18代会長に就任して、はや半年が経過します。この間、当会の活動が他校に比べて、大変活発でありかつ多数の皆さんに支えられていること、その源は母校への熱い思いから来ていることを実感しております。あらため

トロ」メドレーなど次々と繰り出される素晴らしい演奏に、会場にあふれんばかりの参加者は、大きな拍手を送った。

昨年創立60周年を迎えた吹奏楽団は、10月に上田でOB会設立総会を開くことも紹介された。演奏会の最後には65期の元応援団長西村賢治氏らOBメンバー3人も登場、吹奏楽をバックに全員で校歌を4番まで斉唱した。

この後、会食に移り、参加者は久しぶりの再会を楽しんだ。

第53回総会で、滝澤進氏が相談役に、栗山正雄氏が顧問に就任されました。

て身の引き締まる思いであります。

今期は以下の重要課題に取り組んでおります。第一は既に立ち上げた6つの常設委員会の活動を推進し、具体化させ発展させること。第二は若手会員や女子の加入・参加促進につなげるための各期世話役を選定し、同期会や女子会を支援し、6月の総会につなげることであります。

母校が男女共学になり相当の期間になります。昨年の松尾祭を

池田義雄（51期）

タニタ体重科学研究所 所長  
（社）日本生活習慣病予防協会 理事長

のぞいてみました。昔からのアンデパンダン展も継続されていますが、中庭では小人数の音楽バンド、同窓会館では室内楽演奏、教室では展示や模擬店、そしてグラウンドではサッカー大会などが行われ、華やかでした。正直驚きました。女性が男性をしのぐ活躍で私たちのころとは大違いです。若い同窓生を当会に迎えるには少し工夫をしなければと思いますし、若い人たちによる企画・アトラクションも必要ではないかと感じた次第です。会員の幅広い年代層の共通点・アイデンティティは『上田高校・上田松尾高校』ですが、さらに突き詰めたものを探る必要があるように思います。皆さんのご希望・アイデアをお寄せいただければと思います。

本年が、会員の皆さんと母校にとって良い年でありますようお祈り申し上げます。



# 上田高校で社会講座

上田高校で9月18日、卒業生が1年生に専門分野について講義する社会講座が開かれました。講師の皆さんの感想をご紹介します。

いいじゃないの君たち！

五十嵐洋人(78期)

社会講座で「マスコミ」を担当いたしました。打ち合わせ後、係の生徒に案内いただき教室へ向かう。教室には、高校1年生。はつと気付いたらなんと自分の次男と同世代の若者たち。気付くのが遅すぎると自分を責めながら、やりにくさがこみ上げてきた。

日頃、息子ともろくに話もしていない。キャリアプランの話など私が語る資格もない。ましてや、彼らは一番テレビ離れが激しい世代なのだ。ネガティブな思考状態に一直線だ。とはいえ、講師を引き受けた責任もある。50過ぎまで業界で生き延びてきた自分を信じて視線を上げる。

はつとした、澄んだ瞳が真っ直ぐにこちらを見ている。同時に何かスイッチが入った。いいじゃないの君たち！いい加減なことは言えないぞ。メディアの社会的責

任とは何か。報道の自由と人権の尊重の重要性。そのために放送人として市民としての責任、常識と誠実な行動が求められるなど語ってしまつた。

これからも、技術は進歩し続けメディアの形は変化していくと思う。しかし、真実を知りたいと思う気持ちは変わらないと信じている今、真実を伝える仕事を上田高校の後輩に託したいとの思いを強く感じた一日でした。皆さまありがとうございます。

人の営みへの関心

高松寿夫(83期)

大学の文学部で古典文学を教えています。そういう現在の私の立場から、1年生諸君に話をしてくれとのご依頼で、先日、久しぶりに母校にお邪魔しました。

考えてみると、高校在学中に身につけた関心の持ちようといったものが、そのまま今の私のありようを規定していると言つていいと思います。漠然とした言い方ですが、人が生きてきたさまざまな痕跡を読み取ることに對する興味

と言いますか、そんなことには、高校入学前後になんとなく興味を持ち始めていました。そこへ国語の授業で古典文の読み方の手ほどきを受け、一層、多くの痕跡の読み取りができそうな手応えを得、あれも面白い、これも面白いと発見することが楽しみで、大学に進学。そのまま気がつけば30年、大学に居続けてしまつた、という感じ。

いまの1年生諸君も、きつとあのとときの私同様、これから数年のうちに出会うさまざまな事柄と学校の教科で身につけるさまざまな科学的な方法とによって、自分の指向するものをつかみ取り、それへの関心を深めて行き、やがて社会に出て行くのだと思います。

そこで、今回この社会講座でお話ししたのは、あるとき私が面



9月に母校で開かれた社会講座

白いと感じ始めていたものが、今になって少しものが分かる立場になってみたときに、つまりそれはどういうものだったのか、ということを念頭におきながら、いさゝか具体的な事柄について話題提供をしました。奈良時代の経典の切れはしや、日露戦争のころ刊行された上田中学の校友会雑誌、夏目漱石の友人の日記、大正時代の東京市街の地図などの実物を、手に取つて見ながら感じてもらいたかったのは、それらの物の背後にあったその時代の人間の営みを想像することの楽しさといったことなのでした。

2人の郷土の英雄の生き方

関 良基(86期)

社会講座では、グローバル経済が経済的不均衡、貧富の格差、環境破壊等を拡大させ危機に陥っている事実を説明し、次の時代を切り開く覚悟が必要であると話してまいりました。その際、真田幸村と赤松小三郎という時代の転換点を生きた2人の郷土の英雄の生き方が参考になることも伝えました。幕末に鮮やかな未来社会を描いた赤松小三郎の構想は、いまだ十分に実現していない。「念ずれば夢叶う」は小三郎の遺訓だが、この夢を実現させることはこれか

らの課題なのだ、と。生徒たちは熱心に聞いてくれました。

私は高校時代、天文気象班に所属していました、卒業する際、班で撮影し、地学の教材として使えそうな天体写真を地学室に寄贈してきました。何と、26年前に私が太郎山の山頂で撮影したりゆこつ座の主星カノープスの写真が今も置かれていました。地学の先生が「いまでも教材として使っていますよ」と言つてくださり、感激。26年前の記憶がタイムカプセルのように鮮やかによみがえりました。

## 芝パーククリニック

日本人間ドック学会

「人間ドック検診施設機能評価」認定施設

小島 玲(76期)

〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1

芝パークビルA館2階

TEL 03-3434-4485 FAX 03-3434-4007

<http://www.shibapark-clinic.jp>

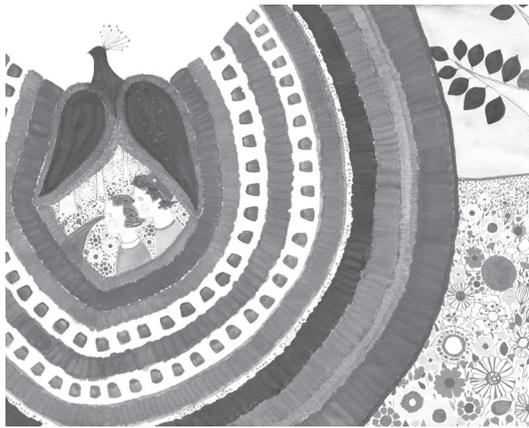


## 社会講座講師一覧

高松 寿夫 (人文学)	83期	関 良基 (農学)	86期
竹内 俊隆 (国際学)	68期	内海 雅史 (医学)	98期
平山 志津 (法学)	94期	飯島 康典 (薬学)	67期
小山 秀喜 (経営学)	73期	寺島 崇幸 (情報学)	89期
竹鼻ゆかり (教育学)	79期	押金 美和 (芸術)	94期
松原 隆彦 (理学)	83期	五十嵐洋人 (マスコミ)	78期
小林 充 (工学)	83期	大口 高生 (公務)	71期

目の前にあることを全力で  
押金美和 (94期)

私は法政大学を卒業しイラス  
トレーターとして活動していま  
す。今年も昨年に引き続きどのよ  
うな活動をしているか作品を持  
込んで手に取って見てもらいま  
した。美大を卒業していない私がど  
のようにして今に至ったかなど、  
大きな影響を受けた山本鼎先生に  
ついてお話をさせていただきま  
した。



押金さんの作品

bleu bird

この分野は自分の作品を見せ  
る積極性も重要というお話もしま  
した。授業の終わりに【夢】とい  
う題で感じた事を黒板に自由に描  
いてもらいました。急なお題に積  
極的に表現する生徒さんが多く、  
独創的な表現が多かったのがとて  
も心強く思いました。

今後、さまざまな分野にアン  
テナを張って今を精いっぱい生き  
てほしいと思います。

一見関係のないように見えるもの  
も必ず何かにつながっているの  
で、目の前に全力で向かい、自分  
が感じた事を大切にしたいと  
伝えました。締め切りが重なれば  
体力勝負の世界、バレーボールの  
班活動で培われた根性、気力、体  
力が役に立つこともあるのです。



ロケット開発者の仕事

小林 充 (83期)

cold play

このたび、高校1年  
生向けの社会講座の講  
師としてお招きいた  
だき、ロケット開発技術者  
の仕事についてお話し  
しました。高校生を相手に講  
演するというのは自分  
にとっても初めての機会  
だったので、何をどうし  
べろうかいろいろ考え  
ました。講演の発表原稿  
を考える過程は、自分が高  
校生のころ何を思い、何  
を考え、どんな夢を持  
っていたのか、記憶の底から引き  
出す作業となりました(仕事と  
関係の無い青春時代の恥多き各種  
思い出も同時に)。また、自分の  
仕事について紹介することも、若  
いころに担当した小さな仕事から  
始まり少しずつ大きな仕事を任  
され、失敗や成功を重ねてきたこ  
を思い出すこととなりました。今  
回は自分の過去を振り返る思い  
がない機会となりました。

30年ぶりに懐かしの校内に入  
り、教室では32人の生徒が迎えて  
くれました。講演では自分がなぜ  
宇宙開発に興味を持ちロケット開  
発の仕事をするようになったの  
か、企業におけるロケット開発の  
具体的な業務内容とそのやりが  
い・喜び・苦労について、また宇  
宙開発技術者になるには今後何を  
学ぶべきかについてしゃべりまし  
た。生徒からはいろいろな質問も  
出て熱心に聞いてくれました。「ま  
さに小林さんと同じようなロケッ  
ト開発の仕事がしたい」という生  
徒もいて、講演したかきがありま  
した。後輩には夢を持って自分の  
やりたいことをやってくれと言  
いたい。長野の山から出てきて世界  
で活躍してくれと。

今回は自分にとっても心動く  
機会をいただきありがとうございます。

# 新たな教育システムの創造 松実学園グループ

初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

(社)ISM 教育総合研究所

全国の児童・生徒が自転車事故の加害者となった場合の「こころの保険」

まつみこうとうがくえん  
**松実高等学園**

本校 埼玉県春日部市中央1-55-15  
http://www.matsumi-gakuen.net

理事長・学園長 松井 石根 (60期)

## 鏡川伊一郎氏講演に79人

## 赤松小三郎はなぜ殺されたか

## 第8回赤松小三郎研究会

第8回赤松小三郎研究会は10月21日、文京シビックセンターで、

作家・歴史評論家の鏡川伊一郎氏による講演会「赤松小三郎はなぜ薩摩藩の刺客に暗殺されたのか」を開いた。参加者は79人（同窓生40人、一般39人）。直前の朝日新聞（都内版）に講演案内が掲載されたため、一般参加者が増え、盛況だった。質疑応答では参加者からの挙手が絶えず、ユニークな意見、調査結果や関連した体験談などの紹介もあり、応答は30分を超えた。今後赤松小三郎への関心の高まりが期待できそうである。

小三郎暗殺について鏡川氏は、小三郎は薩摩藩の軍事機密保持のために殺されたと結論付けた。鏡川氏によると、小三郎が慶応2年に京都で私塾を開き、英国式兵法等の教授を始めたことで、当時武力討幕のため軍備拡張路線中の薩摩藩の目に留まった。その後小三郎は薩摩藩に乞われて翻訳書「重訂英国歩兵練法」（薩摩蔵版）を出版するなど、自身は武力で権力を奪う事には否定的であったにもかかわらず、結果として薩摩藩の

軍事顧問的存在になっていった。

鏡川氏は暗殺されるきっかけについて、小三郎が上田藩からの再三にわたる命に従い帰藩することが決まったことで、これまでの薩摩藩の軍事機密が幕府筋に漏れるのを恐れていたことと解説した。

小三郎が暗殺される前月の慶応3年8月に薩摩藩が具体的な討幕の武力蜂起の秘策を長州藩に明かしていたが、これを薩摩藩のいわば軍事顧問であった小三郎も知りうる立場であったことを指摘。この秘策は薩摩藩では島津久光・西郷

隆盛・大久保利通・小松帯刀の4人だけが知る極秘事項だったが、島津久光あたりから聞かされたのではないかと推測する。

要するに小三郎は薩摩藩の軍事的機密事項を知りすぎた男として殺されたとし、小三郎が武力によらずに公議に基づいた民主的な政治体制への移行を唱えていただけにまことに皮肉であり、本当に惜しいことであったと結んだ。

鏡川伊一郎氏著作「司馬さん、そこは違います！ 龍馬が勝たせた日露戦争」（日本文芸社）の一読をお薦めします。

荻原貴（79期）

## 赤松小三郎研究会の活動

「赤松小三郎研究会」は

2013年8月に発足以来、偶数月の第3火曜日に集まっています。毎回参加者は20人前後です。2014年10月には第8回を数えました。前回の会報に引き続き、その後の活動内容を報告します。（詳細は、関東同窓会ホームページの「会の活動・同好会活動」↓赤松小三郎研究会でご覧ください）

○第5回（2014.4.15）

1. 宮原安春さん（58期）による「遠い崖 アーネスト・サトウ日記抄 江戸開城」の中から上田藩士の門倉伝次郎（赤松

小三郎より以前に英国のアップリン大尉から騎兵の訓練を受けた人）の紹介。

2. 石井光春さん（54期）による丸山眞男の講演録「幕末における視座の変革―佐久間象山の場合―」の解説。

○第6回（6.17）

1. 事務局による赤松小三郎に関する写真8枚（上田市立博物館蔵）のスライド上映。

2. 宮原安春さんによる「兎東すゞ子様へのインタビュー報告」。なお兎東すゞ子様（10月に103歳でご逝去）にとって小三郎は「曾祖母の弟」にあたる。

3. 香掛忠さん（61期）による「赤松小三郎の時代の世相・各藩の動向」に特に（1）薩摩の財力の基（2）幕末に砲術・火薬製造をした中居屋重兵衛（3）信州の生んだ砲術家坂本天山（4）上田地方の手すき和紙についての説明。

○第7回（8.19）

1. 関良基さん（86期）による「赤松小三郎を取り巻く人間関係 薩摩藩と上田藩を中心に」の報告。大変興味深い「11の調査すべき課題」と「7つの仮説」が提示された。



赤松小三郎講演会。左上は鏡川伊一郎氏

## 櫻田法律事務所

弁護士 櫻田 喜貢穂 (65期)

弁護士 今井 亮 (野沢北高校)

〒102-0092 千代田区隼町 2-17 パレスサイド千代田 3F  
Tel 03-3512-3562・Fax 03-3512-3563  
sakura@sakurada-jimusho.com

ホームページ作成（無料）、WEBマーケティングを通じて国内および海外市場への進出、開拓、提携などを支援



(株)ニュービジネスビジョン

(1985年設立・資本金 1000万円)

創業者・会長 中澤 清 (61期 米国永住権取得)

代表取締役 宮下義弘

〒389-0505 長野県東御市和 1414-5  
TEL 0268-71-5098 FAX 0268-64-5420  
E-mail: info@nbv-j.com



# 諸藩士惜しがりおり候

## 小三郎暗殺当時の世評

関 良基 (86期)

慶応3(1867)年9月3日、  
9月5日)

赤松小三郎は暗殺された。暗殺された当時の世評を見ると、薩摩藩の組織的な犯行であると皆が感じとっていたこと、また在京の諸藩士が小三郎の死を惜しんでいたことなどが分かる。東京大学史料編纂所の維新史料綱要のデータベースの中から、赤松小三郎暗殺関連の記事をいくつか紹介する。

・朝彦親王(中川宮)日記(慶応3年9月6日)

「薩人キリ死有之候(中略)右人体ハ信州上田藩洋学者赤松小三郎ト申者(中略)○十印余程此頃何ケ計可有之哉」

朝彦親王は、薩摩藩士による人斬りがあり、殺されたのは赤松小三郎であること、薩摩藩(○十印は島津家の家紋で薩摩藩を指す隠語)が余程の計略をめぐらしているようだ」と記している。朝彦親王は、小三郎暗殺の報を聞くや、薩摩が大きな計略を実行に移そうとしていることを敏感に感じとったようだ。

・長州藩士・品川弥二郎日記(同

品川弥二郎は小三郎が殺されたことを薩摩藩士から確認して、「赤松一昨日斬首セラレシヨシ」と書き留めている。薩長が武力討幕計画を画策する中、それに反対する小三郎を取り除くことも了解されており、暗殺の事実も長州にも知らされたのかも知れない。ちなみに品川弥二郎は、佐久間象山暗殺の実行グループの中にもいた。

・熊本藩士・青池源右衛門の探索書(同9月6日)

7、8人の刺客が小三郎を襲って暗殺したとの記載がある。薩州の内情をよく知っていたので天誅を加えられたと、薩摩の犯行をにおわせた報告を藩に上申している。熊本藩は藩士を小三郎の塾で学ばせていた。

・鳥取藩京都留守居役の報告書(同9月)

鳥取藩も藩士を衣棚にある小三郎の塾で学ばせていた。同藩の報告書によれば、小三郎は慶応2年の秋から薩摩藩邸に塾を開設しており、薩摩藩士の信頼も厚く、門人

は多数に上ったと記されている。上田藩よりたびたび帰藩命令が下り、また幕府からも小三郎を御雇いの沙汰があつたが、薩摩藩家老の小松帯刀が自ら折衝し、引き止めていたとする。さらに次のように記す。

「薩人の) 不容易密謀も有之哉と被察候より右小三郎と申者改心致し急々罷歸り申度段(中略)三日七時頃五条東洞院ニテ何者の式人ニテ小三郎を切倒し置逃去候由小三郎と申者は諸藩士にても惜しがり居申候 右式人之者薩人ニ相違無之と申事ニ御座候」

小三郎は、薩摩藩の密策を察知して帰藩を決意したところを二人の刺客に暗殺されたとし、暗殺者は薩人に相違ないと断言する。そして在京の諸藩士が小三郎の死を惜しがっていると伝えている。

これらの史料から、諸藩の垣根を越えて分け隔てなく平等に接し、それ故、皆から慕われていた小三郎の人徳がしのばれる。諸藩の枠組みを超えて民主的な国民国家を創ろうとしていた小三郎の夢は、狭い藩閥権力の枠組みにとらわれていた人々によって打ち砕かれたのだ。

### 上田藩が生んだ幕末の偉才

「赤松小三郎」略伝

赤松小三郎 天保2(慶応3(1831)~1867)年 享年37歳

幕末に活躍した洋式兵学者、議会政治の先唱者である。幼少から算術が得意で、さらに蘭語はもとより、英語など語学の才も当代きつてといわれる。

江戸に出て内田弥太郎、下曾根金三郎に師事した。勝海舟の弟子として長崎海軍伝習所へ行き、蘭学、英学、兵学、航海術などを学んだ。

「英国歩兵練法」を翻訳出版。京都の薩摩藩邸にて英国式兵法など洋学を教えた。慶応3年には二院制議会、人材教育、人民皆平等や海陸軍兵備などを説いた「建白七策」を松平春嶽と島津候に上申したが、大政奉還の直前に暗殺された。

議会政治の先唱者として、「新政府綱領八策」を提唱した坂本竜馬がよく知られているが、小三郎はそれより半年早く「建白七策」を上申している。

## 赤松小三郎研究会

関東同窓会の同好会で、偶数月の第三火曜日

18:30~20:30 に例会開催中！！

坂本龍馬より先に二院制議会政治等を提唱した

上田藩出身の赤松小三郎…今、歴史的見直しの時

<会長> 丸山瑛一(51期)  
<連絡先> 研究会事務局 荻原貴(79期) 090-3517-9011  
事務局長 小山平六(62期) kannazuki-6318@kxb.biglobe.ne.jp

**JPE** 産業用省力・専用機械の設計・製作  
多種多様な業界に対応致します

＜当社の特長＞

1. 設計・製作・制御・設置までの一貫受注システム
2. 加工設備が豊富
3. 加工作業が豊富
4. 提案課題が豊富

株式会社 ジューピーイー

長野県上田市富士山宇鴻巣 2329-1  
代表取締役社長 工藤 武和(第67期卒)  
TEL 0268-38-3801  
URL http://www.jpe2000.co.jp



## NHK大河ドラマ「真田丸」放映決定記念寄稿(上)

## 第1次上田合戦勝利の背景

荻原 貴(79期)

第1次上田合戦(天正13年・1585年)は「真田軍がわずかに2千弱の兵力で、7千もの大軍で上田城へ攻め込んだ徳川軍を撃退してその名を一躍天下に知らしめた合戦」であるが、勝因はややもすると合戦自体の昌幸の奇策戦略が強調されがちなので、今回は重要な背景を2つ紹介する。

## 1. 上杉景勝の援軍があった

昌幸は沼田領問題で家康との交戦を覚悟した時に、当時海津城後の松代城)まで勢力を拡大していた景勝の後ろ盾が欠かせなかった。景勝にとっても真田と組むことによって家康の勢いを上田で防げるため、ここに両者の利害が一致した。昌幸は二男幸村を人質に送って景勝に忠誠を誓い、景勝は実際の合戦時には援軍(後詰め)を曲尾(真田町)付近に送った。景勝自身も上田付近まで詰めたといわれる。

## 2. 家康重臣・石川数正の秀吉への寝返りがあった

天正13年・閏8月2日、合戦の最後に神川で多くの溺死者を出した徳川軍

は、その後小諸城まで兵を退けてしばらくはにらみ合い状態が続いていたが、家康の重臣・石川数正が秀吉の調略により同年11月に突如秀吉に寝返ってしまった。秀吉と家康が前年11月に小牧・長久手の

## 「仙台真田家」

## を検索する

宮原 豊(65期)

戦いで休戦して間もない緊張状態が続く中での出来事で、これは徳川領国の機密事項がライバルに筒抜けになり、かつ秀吉に家康征伐の大義名分を与えかねないため、家康にとっては「緊急事態の発生」であった。これが徳川軍撤退の大きなきっかけとなった。

重長の後妻となり、弟の大八は片倉四郎兵衛守信と名乗りやがて伊達家に召し抱えられ、次代の辰信は真田家を復名、仙台藩士として宮城県蔵王町に領地300石を与えられたと伝えられています。

1998年から2000年の仙台勤務の時に、仙台市泉区でその寺を発見しました。いったんは通り過ぎたものの「真田幸村公ゆかりの寺」の大きな看板に驚き引き返すと、山門には幸村からの系図・由来が記された案内板が大きく掲げられていました。いつか再訪しようと思いつつ果たせないまま仙台を離れました。7、8年後その寺を再訪しようと探したけれど名前も所在地も見つからず、キツネにつつまれたような思いのままいつしか忘れていました。

最近また幸村公遺児による仙台真田氏の物語を聞き、記憶を頼りに範囲を広げてその寺を再度探

してみたもののやはり見当もつきません。あの時確かに見た仙台市泉区の寺は全く検索に引かかってきません。

話を仙台真田家に移します。大坂夏の陣で幸村公長男の大助は父とともに勇猛に戦い最後は自刃したと言われており、そこで幸村公の血筋は途絶えたかのように思われるのですが、幸村公は敵方の伊達政宗公の重臣片倉十郎重長氏の陣中に秘かに子女(1男4女)を託したと言われています。遺児たちが白石城で養育されていると知り、真田家旧臣の三井奉膳なども白石藩に身を寄せたと伝えられます。姉の阿梅が白石城主・片倉

今回、幸村公ゆかりの寺を検索する過程でさまざまなことを知ることができました。2001年に6府県から13市町村の代表者が参加して「新世紀・真田サミット」が宮城県白石市において開催されています。なんと真田サミットは1998年から毎年開催されており、その年の白石市でのサミット開催は第4回でした。

大河ドラマ「真田丸」放映が決定し、仙台真田家当主による講演会や真田家ゆかりの地を巡る旅が企画されるなど宮城県でも白石市や蔵王町を中心に大いに盛り上がっています。400年を通して幸村公未裔は多くの傑物が輩出していますが、人々の心と心を結ぶ「男気・義侠心」の歴史物語に大いに勇気付けられる思いがします。

案内板は撤去されたいと書かれていたのです。地図上で確認すると自分の記憶と完全に一致します。寺に電話すると「確かに真田家ゆかりと伝えられていたが、専門家からも直接関係ないのでないかと指摘された。真田家からも撤去してほしいと要請されたので、幸村公ゆかりと名乗ることはやめました」との回答でした。

仙台市泉区の寺の話題に戻ります。粘り強いネット検索の結果ついに見つけることができました。仙台在住の郷土史家のブログに「泉区の某寺は以前、真田幸村公ゆかりと紹介していたが、最近

**六文銭隊コロケ**  
富福神本舗

有限会社シヨクサン  
代表取締役 小田 実(62期)  
取締役 鈴木徳章(90期)  
柳沢勇介(99期)  
電話 0268-25-1240  
FAX 0268-25-1239  
E-mail: shokusun@pastel.ocn.ne.jp

**六文銭隊コロケ**  
販売店募集中!

環境保全技術協議会事務局  
株式会社KCKコンサルティング  
代表取締役 **諸岡健児(62期)**  
千葉市花見川区畑町894-18  
7262-0018  
Tel 043-12761266  
Fax 043-12761266  
同窓生のご支援に感謝



# 蓼科山の麓の宇宙基地

JAXA名誉教授 平林 久(60期)  
「子ども・宇宙・未来の会」会長

白田の町から蓼科山方面に向かつて林道をどんどん上がっていくと、突然巨大な白いパラボラアンテナが谷間に出現します。口径は64<sup>メートル</sup>、もちろん日本一です。深宇宙に向かった探査機との通信を行うJAXA白田宇宙空間観測所(標高1450<sup>メートル</sup>)です。1984年に開所して、今年30年、地元の皆さんにもお世話になってきたので、佐久平駅近くの佐久勤労者福祉センターホールで、10月25日の午後に記念講演会が開かれました。

講演会は、映画と林友直初代所長の建設にかかわる「白田局ことはじめ」講演、さらに山本善一現所長と平林とを加えた座談会「白田より深き宇宙へ」、川口淳一郎教授の講演「白田が支えた日本の惑星探査、はやぶさ、はやぶさ2、そして未来」という3部構成でした。参加者は300人を超え、なかなか楽しい雰囲気で行われることができました。



宇宙探査のセンターがあることはおもしろいことです。また、千曲川の最上流の川上村梓山出身の油井 亀美也飛行士が、2015年のフライトに向け訓練を続けています。若い人々には、ここで、世界一の天文学、宇宙科学、活動が拓かれています。白田でさまざまな電波実験をおこない、そして国立天文台(野辺山宇宙電波観測所をたばねる天文台で、1988年に東京天文台から改組されました)から宇宙科学研究所に移り、電波天文衛星「はるか」計画で国際観測をおこなう道に進みました。この電波天文計画では、白田の64<sup>メートル</sup>アンテナは電波望遠鏡としても使われ、また、「はるか」追跡専用のアンテナも作られたのです。ですから、私には野辺山も白田も大切なところで、

## 白田宇宙空間観測所のアンテナ

白田のアンテナのある場所から下った集落が小田切の里です。ここは、鎌倉時代に時宗を開いた一遍上人があの踊り念仏を始めたまさにその場所なのです。神奈川県相模原市に、白田宇宙空間観測



佐久市で開かれた記念講演会

所の本部であるJAXA宇宙科学研究所がありますが、近くの無量光寺にはかつて一遍上人が滞在していたので、寺の庭に眼光鏡歩き出そうとする銅像が立っています。すべてを捨てて全国を歩き続けた一遍の生は、深宇宙をどこまでも突き進む電波のようでもあります。

その後、一遍上人絵伝を図書館から借りてきました。大きな風景のなかを一遍たちが歩いていきます。小田切の里の絵も出てきます。病弱者、障害者、非人などもごく自然に描かれたやさしい目線の絵伝だと思えます。

**信州ハム**  
信州上田の地で製品を作り続けています。

**信州ハム株式会社**  
代表取締役社長 中村 幸男 (第65期)

〒396-8686 長野県上田市下塩尻950  
TEL.0268-26-8610 FAX.0268-26-8611

安心にまっすぐ。  
グリーンマークシリーズは発色剤、着色料、保存料、リン酸塩を使用しないで作られた信州ハムのハム・ソーセージにつけられるシンボルマークです。「なるべく自然のままの食品を食べたい」というお客様のご要望から1975年に誕生しました。

# アクト法律事務所

〒107-0052  
東京都港区赤坂3丁目9番18号  
赤坂見附KITAYAMAビル3階  
TEL: 03-5570-5671 (代表)  
FAX: 03-5570-5674  
【最寄りの交通機関】  
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士 (所長)	岩井 重一 (62期)
弁護士	安田 隆彦
弁護士	平澤 慎一
弁護士	波戸 岡光太
弁護士	黒澤 真志

# 上田ゆかりの偉人

## 民生委員制度の創設者

### 小河滋次郎

市村光志（62期）



小河 滋次郎

1894年（明治27年）出獄人保護は社会の責務であるとし、その草分けとなった「監獄学」を著し、その後パリ万国監獄会議

日本全国どこに行っても民生委員が居ない街はありません。皆さん自身ないしはお近くで民生委員として活躍されている方も多くいます。この民生委員制度を苦心<sup>えんた</sup>奮<sup>た</sup>しながら作り上げたのは、わが郷土上田出身の小河滋次郎です。

1863（文久3）年上田藩奥医師であった金子宗元の次男として生まれ、後に小諸藩槍指南役小河直行の養子となり小河姓となります。兄は上田慈善会（上田盲

学校の前身）を創立し、甥も医学に携わるなど弱い人たちを助ける仕事に従事するヒューマニズあふれる環境に育ちました。さらに小河が10代後半に労働者保護の議論を重ねた事が生涯の信念となり、「僕の運命はその当時から既に弱き者の友たれという事に極まっていた」と彼自身が述懐しています。小河は東京帝国大学法学部別科法学科等で学び、1886年（明治19年）に内務省に入り監獄行政に携わりました。内務省時代の

に日本代表委員として出席しました。

1908年（明治41年）45歳で司法省を退官しますが、1913年（大正2年）に大阪府知事から招かれ大阪府救済事業指導囑託となり、小河の後半生の舞台は関西に移りました。救済事業研究会を設立し従来ほとんど社会事業についての理論を持たなかった大阪府に社会事業の基礎となるべき理論を植付けました。1918年（大正7年）「少年法案」が議論されましたが、内容があまりにも刑罰的であったので「少年は教育の対象であつたので司法処分すべきではない」と終始批判的立場を表明しました。この年の夏、米価暴騰による米騒動が大きき要因となつて方面委員制度が創設されました。10月には大阪府方面委員制度が公布され、その趣意書には「吾々委員は社会のため人道のため、弱き人や不幸せな人たちの味方となつて出来るだけ犬馬の労を惜しまぬ覚悟」とあるように、小河の意思が貫かれております。

1894年（明治27年）出獄人保護は社会の責務であるとし、その草分けとなった「監獄学」を著し、その後パリ万国監獄会議が東京で開催され、1946年

## 土屋法律事務所

東京都港区虎ノ門1丁目1番15号  
三田ビル3階（〒105-0001）  
TEL 03-3580-8588  
FAX 03-3539-7057

弁護士 土屋耕太郎（68期）

（昭和21年）には民生委員制度と改称され現在に至っています。小河はこの制度について「この仕事は全く掛け値なしの捨石的犠牲であり縁の下の力持ち」と述べています。

小河は1925年（大正14年）62歳で亡くなりましたが、1940年（昭和15年）に上田市方面委員の代表者が全国から寄付を募り、彼の胸像を上田城跡公園内に建設しました。現在も福祉のシンボルとしてその行方を静かに見守っています。

## いつか咲く。思い通りにきつと咲く。

本校は「地域の人たち」や「世代や職業を超えた様々な人たち」との関わりの中から「生きる知恵」を学び実践することを目標にした「コミュニティスクール」です。がっこう笑顔があふれる新しい学びの場、「楽校」です。



楽しくなければ学校じゃない

- 通学型コース
- 集中スクーリング型コース

<最近の合格実績>【国公立】東京大・京大・筑波大（医）・東京工業大・東京外語大・千葉大・新潟大・信州大ほか多数  
【私立】早稲田大・慶徳大・上智大・東邦大（医）・杏林大・東海大（医）・帝京大（医）・明治大・法政大・国際基督教大・青山学院大・中央大・北里大・多摩大・武蔵美大ほか多数

広域通信制・単位制・普通科・男女共学  
Sakura International High School  
**さくら国際高等学校**  
http://www.sakura-kokusai.ed.jp  
学園長 荒井 裕司（64期）



# 吹奏楽団OB会「松奏会」が発足 上田市民会館で記念演奏会

上田高校吹奏楽団のOB会「松奏会」が10月11日に正式に発足した。

6月の関東同窓会総会に出演して好評を博した吹奏楽団は創部61周年を迎え、卒業生は1000人を超えた。しかし、これまでOBが集う親睦組織はなく、卒業生の交流も希薄だった。そこで有志が2年前に設立準備委員会を立ち上げ、OB名簿作成などの準備を進めてきた。

記念すべきこの日はまず、上田市民会館で「松奏会」設立記念演奏会が開かれ、約400人が集まった。現役生が「祝典のための音楽」などを演奏した後、ゲスト出演の上田市民吹奏楽団が「アナと雪の女王」のメロディーなどを披露。さらに現役生とOB約80人による迫力ある合同演奏が行なわれ、最後に上田一中吹奏楽団約30人も加わって行進曲「星条旗よ永遠なれ」を演奏し、客席から大きな拍手を浴びた。

この後、上田高校同窓会館に場所を移して設立総会を開催。会員相互の親睦、現役吹奏楽団への支



合同演奏する上田高校吹奏楽団現役・OBと上田一中吹奏楽団

援、地域の音楽文化発展への寄与を目的とすることなどを定めた会則を全会一致で採択し、会長に百瀬和紀さん(58期)、幹事長に中村真一さん(62期)を選出した。NHK交響楽団で36年間ティンパニー奏者を務めた百瀬さんは「現役生の定期演奏会などの機会にOBが集まって交流を深めたい」とあいさつした。

真山隆夫(62期)

民間企業で携わったモノづくりの経験を生かして何かできないかと思い、JICAのシニア海外ボランティアに応募し、2014年の1月までの2年間ベトナムで活動してきました。ホーチミン市と周辺の3省の裾野産業振興のプロジェクト(シニア海外ボランティア8名のチーム)に加わり、現地ローカルの中小企業(製造業)の改善活動を支援しました。日本の工場では当たり前になっている基本的な管理がまだまだ導入されていない現場が多く、まず整理・整頓など5Sから始め品質管理や生産管理の改善活動を支援しました。

支援活動とは与えるものと思っていきましたが、実際はこちらが逆に支援されたことや、無形の見返りもたくさんありました。現地に入った当初、どこから手を付けていいかわからない時などに地元政府機関やJETRO、日本総領事館などから現地企業の情報を

## JICA 塩崎良次(66期) シニア海外ボランティアの体験

民間企業にいたらずいぶん助けていただきました。帰国後の5月には、支援した企業から「改善成果の発表会」と「感謝会」をやるから来いと招待され、ボランティアOBが飛行代と宿泊代は自前でホーチミンに駆け付けました。企業43社の方と懐かしい時間を共有するとともに、ベトナムの人の感謝の気持ちと義理堅さのようなものを感じることができました。民間企業にいた時に海外に駐在したこともありますが、その時とは一味違う周りからの多くの支援と沢山の無形の見返りをいただきました。またベトナムの人は総じて穏やかで親日的で、多くの友人ができました。ベトナムでの活動は、かけがえない体験となりました。



ベトナム南部のメコンデルタにて

【参考】JICA(独立行政法人国際協力機構)は開発途上国への「人を通じた国際協力」としてボランティアを派遣しています。青年海外協力隊やその中高年(40~69歳)版のシニア海外ボランティアなどがあります。派遣国数はアジア、アフリカ、中南米など78カ国。分野は農業、工業、医療、教育など多分野にわたります。募集は年2回ありますので、興味のある方は一度応募されてみてはいかがでしょうか。

### 新千代田総合法律事務所

日本弁護士連合会会長

弁護士 村越 進 (67期)

東京都千代田区神田神保町2丁目3番1号

岩波書店アネックス8階 〒101-0051

電話 03-3239-5360 Fax 03-3239-5361

http://www.shin-chiyoda.jp/

# 「創句」これからが青春時代

## やまびこ句会に参加して

俳句には以前から興味がありましたが、飯田龍太らの本を読むレベルでした。63歳で引退して、ゴルフとテニス、日本歴史探求の趣味の世界に何か物足りなさを覚えていた時、62期の小小平六先輩から「母校OB句会」にお誘いをいただきました、参加してはや2年になります。森澄雄の弟子である62期の児玉二江先生のご指導の下、66歳の私が一番若い参加者です。

熊野に早立ちぬ」「病み抜けて妻と二人の春炬燵」「書齋まで銀杏を炒る句ひかな」「雪しまき信濃の母を妻と訪ふ」「丹頂の降りて曠野は華やげり」「逝く春や紅一点のトラクター」「笑い声絶えず聞こゆる雛の間」「佐び茶屋の開けはなたれて杜涼し」「一筋のけもの道行くきのこ狩り」が自分では印象的な句です。

今年春に家内の母が99歳で逝

児玉先生の

## やまびこ句会 (5月〜10月)

- 「選」の俳句は初めて参加した時詠んだ句で「夕焼けや瀬音いつしか静まりぬ」「亡き母の声が聞こゆる落葉焚き」の2句です。先生に思いがけず褒められて有頂天になりました。その後「光圀の愛でし石橋沓え返る」「にが瓜が終の住処を覆ひけり」「万緑の中を
- 手のひらにのせて酢橘の青さかな (一江)
- 篝火に水面きらめく鵜飼かな (奉男)
- 秋晴れや時の鐘鳴る蔵の街 (正佳)
- 荒砥城花桃燃ゆる中にあり (貴美)
- 見上げれば天を被ひて夏木立 (太郎)
- 廃線の駅舎を覆ふ鳶紅葉 (隆治)
- ケチャの音に常夏の鳥暮れゆけり (正雄)
- 枝を剪る鋏の音や梅雨晴間 (平八)
- 素麺や母の好みし胡桃だれ (由美)
- 隣田に影を伸ばせる案山子かな (前歩)
- 亡き人に言問うように盃蘭盆会 (孝昭)

去し「花に葉に白寿の母の骨拾ふ」  
「囀りの中納骨を終へしかな」と詠みました。この夏には「溽暑かなスカイツリーが歪みをり」秋には「父母の墓をしばし離れぬ秋の蝶」「妻と居て心二つの夜長かな」と創句しました。

「創句」を始めてまだ2年。これからが「青春時代」です。今一番の悩みは「余計な言葉を使ってしまう」ことです。「省略する力」に欠けているのですかね。

当初は投稿句5句の創句が大変でした。最近では元句15句に推敲に推敲を重ねて100句ぐらい作り、その中から厳選して5句を投稿しています。東京で開催される句会です。高崎市在住の私には交通費がかさみ大変ですが、心優しい児玉先生に褒めてもらうことと、仲間に出会うのを楽しみに毎月参加しようと頑張っています。

中山正光 俳号前歩 (65期)

## 矢ヶ崎智さん (64期) が優勝

関東 秋のゴルフコンペ 同窓会

第22回上田高校関東同窓会秋のゴルフコンペは11月10日船橋カントリー倶楽部(千葉県白井市)で54期から69期までのゴルフ同好会メンバー32人が参加して開催さ



船橋カントリー倶楽部で開かれた秋のコンペ

れた。

秋の高い爽やかな空の下、18ホールHC形式で実施された。個人戦の優勝は 矢ヶ崎智さん (64期)。準優勝は依田欣五郎さん (62期)。第3位は西村耕三さん (63期)。ベストグロスは88の森則雄さん (65期) が春秋連続で獲得した。

5チームによる期別対抗戦は、参加最年少グループの69期が若さを武器(?)に平均スコア78・0で堂々の優勝を勝ち取った。

コンペの後、クラブハウスで開催された表彰式兼親睦パーティーでは、最年長の石井光春さん (54期)、アメリカから唯一の女性参

加の磯野玲子さん (69期) をはじめ参加者からのスピーチもあり、終始和気あいあいの雰囲気の中終了した。

次回 第23回ゴルフコンペは2015年4月10日(金)千葉県カントリー川間コース(千葉県野田市)で開催の予定。

上田高校関東同窓会ゴルフ同好会ではコンペの新規参加メンバーを募集中。希望者は電話090-6042-0566 jlc3685@b8.mnx.ne.jp 代表幹事 古畑克巳 (69期) まで。

荒木久文 (69期)

## ゴルフ同好会に参加しませんか!

毎年、春と秋にゴルフコンペを開催  
母校の先輩・後輩との新しい交流が生まれます  
次回コンペは4月10日(金)千葉カントリー川間コース  
新規参加者 大歓迎 ぜひご連絡ください

【ゴルフ同好会幹事】 古畑克巳 (69期)

TEL 090-6042-0566 jlc3685@b8.mnx.ne.jp



## オレゴンだよ(2)

# チップの習慣

磯野 玲子 (69期)

世界各国を旅行したが、日本ほどサービスの行き届いた国はほかにないだろう。レストランでもお店でも客を愛想よく迎えてくれる。新幹線は、折り返しの運転前の数分の間に素早く清掃され、いつもクリーン。出発時刻も遅れることはめったにない。

ビジネスで日本のホテルに泊まったアメリカ人の男性は、重いスーツケースを若い女性のホテル接客係が笑顔で部屋まで運んでくれるのに、チップは不必要ということに驚き感激していた。米国だったら、タクシー、ホテル荷物係、美容師、ウエーターと人の手をわずらわせるたびにチップを期待される。

さて、このように素晴らしいサービスの慣れっこの日本人がチップの習慣のある海外にきた場合、どうなるか。座って食事するレストランでは、15%は当たり前、8人以上のグループだと自動的に18~20%はチャージされる。高級レストランに行けば行くほどチップ

も高くなる。アメリカに長く住む私でも、この習慣は何とかならないものかと思う。

この間、ちよつと困った光景を目にした。日本行きの飛行機がキャンセルになり、サンフランシスコ空港近くのホテルに一泊した翌朝、空港近くのホテルを回っている20人乗りぐらいの無料シャトルバスに乗ると、日本人観光客で既に満席。しかも通路には、日本人グループの大きなスーツケースが山のようにな置かれ、足の踏み場もない。空港に着いて、運転手が大量のスーツケースを汗だくで降ろした。全部終わったあと、旅行代理店の添乗員らしい若者が「さ、それでは、行きましょう」と皆を引き連れて行ってしまった。運転手は同じ日本人の私を見て



「あんなに大量の荷物なのに、チップ無し？」とあぜんとして言った。私は恥ずかしくて、思わず「アイアム ソリー」と謝って、私の分は少し余分にあげた。

添乗員さん、いくらあなたの会社の旅行経費を節約したいからといつても、無料のシャトルを占領するほど大荷物の団体に乗せる

## 介護を通じて

関 和義 (69期)

のはどういふものでしょう。タクシーを利用するべきではないかと思いますが、どうしてもバスを利用するのなら、少なくとも運転手にチップをあげるくらいの常識は皆さんに教えてあげて下さいね。一つの荷物につき、1~2ドルの世界ですから。

私は今年62歳だが、同期の連中と会うと話題は初孫の自慢か、自身や家族の健康や親の介護の話になる。私の場合、初孫はまだだし、両親は4人とももういない。しかし連れ添いの介護という想定外の事態に陥っていて、現在は定年をだいたい前にして退職して連れ添いとの生活を第一義としている。連れ添いは、57歳という若さで脳梗塞を発症、一命は取り留めたものの後遺症が残った。最初は寝返りも打てなかったが、リハビリの末に現在では利き手である左手が不自由だが、他はほとんど回復し、5年経過した現在でも少しずつだが機能は改善し続けているのである。それにはさまざまな幸運もあったが、最大の要因は、連

れ添いが当のリハビリを教える専門家であったことにあるといえよう。それ故に、ミイラ取りがミイラになったまねな例として本も出版し(※)、また講演などで全国を回っている。私はそれに付き合い、リハビリや旅行を共にする生活となつていく。早期に退職し、ほとんどできなかった料理や掃除洗濯をこなさなければならぬ身となつたが、余りある恩恵を受けていて、この運命を感謝しこそすれ嘆いてはいない。講演先では連れ添いは、リハビリのコツは「知識・病識・意識」だと説いて回っている。すなわち病気に関する知識を得て、自分の状況を正確に認識し、治そうという強い意志を持ち努力し続ければ、少しずつでは

## 土屋綜合法律事務所

弁護士 土屋 文男 (69期)

〒102-0073 千代田区九段北1-3-3  
九段下東急真サクラビル4階・8階  
TEL03-3512-0211・FAX 03-3512-0214

あつても確実に改善していくものである、ということである。私もそう思うし、素人には困難も伴うが決して不可能ではない。脳卒中経験者は身近に実に多い。またそろそろ自分の番かもしれない。私は、適宜息抜きをして気楽に介護生活を楽しみつつ、その時に備えることとしていくが、皆さまにも参考になれば幸いである。

\* 関啓子著「まさか、この私が脳卒中からの生還」(教文館)



# 1年 集中力鍛える「学習合宿」

1学年は、10月14日から2泊3日で学習合宿を行いました。総学習時間は20時間です。

出発前に「こんなに長時間の学習には耐えられない」「集中できるか不安だ」と言っていた生徒たちですが、学習が始まると黙々と集中して取り組んでいました。終了後のアンケートには「自分がこんなに集中できるとは思わなかった」「こんなに長時間でも集中できるのだから、授業をもっと大切

にしたい」というような感想が多く見られ、学習に対する自信が付き、意欲が向上したことを感じました。

合宿では「合宿の記録」を毎日付けて、目標を立て振り返ることを大切にしました。目標がはつきりすることで、さらに集中力を高めることができたのかもしれない。1年生の10月は文理選択に迷う時期ですが、将来の目標や興味のある学問を見つけ、前向きに自



20時間の学習合宿

分の道を選択し歩んでほしいと思っています。

1学年担任 清水玲美

# ワクワク座談会「カタリバ」

自分の将来を見据えた上で、勉強する意義を見つけてほしい、そして冬の文理選択を迎えてほしい。そんな思いから、1学年はさまざまなイベントを同窓会のバックアップのもとに行っていました。

今回は10月24日に先輩大学生との座談会「カタリバ」が上田地域産業展と同開催されました。

「進路について考えろと言われても、どうすべきか分からない」「将来やりたいことな



大学生と語り合い自分を見つめなおすカタリバ

生たちが、親でも先生でもない大学生と座談会を行い、進路をはじめとする学校生活での悩みを解決するヒントを探すカタリバ。先輩が経験した今までの人生を聞き、グループで話しながら、自分について見つめ直すワークを行いました。最初は戸惑っていた生徒たちも、だんだんと「こんな生き方もあるんだ!」「そんな経験私もしたい!」とさまざまな声をあげながら、生き生きと楽しそう語り合う姿が印象的でした。

1学年担任 塩原潤

# 2年

## めったに見られない沖縄 平和を学ぶ貴重な機会



平和の礎（いしじ）でセレモニー

2学年の修学旅行は10月13日から3泊4日で沖縄県を訪れました。出発日は、台風19号が本州に接近しつつあり、直前まで出発できるかどうか、職員、生徒も危惧することしきりでした。

当日は台風の真上を飛行機で通り過ぎ、那覇空港へ。台風一過 縄を訪れていますが、年々、「戦争」というものが高校生にとって遠くなりつつあるなあ、という実感がありません。おじいちゃん、おばあちゃん世代さえ戦争を体験していない生徒がほとんど、という時代になった現在、修学旅行は「平和」について学ぶ貴重な機会です。

今回の旅でも、生徒

は平和祈念公園での平和セレモニーや千羽鶴献納、ひめゆり資料館での講演会や壕の見学などで「沖縄戦」「第二次世界大戦」についての数多くの資料・戦跡を目にしました。ひとりひとり真摯に学ぼうという姿勢が見られ、「平和」について考える場となり得た、と感じました。

美ら海水族館や首里城など、沖縄の

のあとの沖縄は、台風避難で軍用機がまったく見当たらない嘉手納基地、台風の高波で白砂がすっかり洗われ下の岩盤がむき出しになった海岸などなど、「めったに見られない沖縄」を巡る旅になりました。

豊かな文化や歴史を学ぶ見学地では、旺盛な好奇心で熱心に見入っていた生徒の姿が印象的でした。豊かな好奇心で未知の事物と向き合えるというのは、上田高校の生徒たちの本心に素晴らしい点だと思います。

修学旅行での引率で何度か沖

2学年担任 草間千枝

# 上田高校 NOW



# 3年 「熱い冬を乗り越える」 受験シーズン本番へ

10月から11月にかけて毎週のように模擬試験が行われ、脇目も振らず真剣に挑む3年生の姿に、受験シーズン本番を感じます。10月2日には大学入試センター試験の志願票を提出しました。出願の速報値では昨年度より2万人ほど減少していますが、来春の18歳人口は約2万人増加する見込みで、最終的な志願者数は増加する可能性もあり、厳しい受験であることに変わりはありません。そんな中、早朝から自習室の席は埋まり、授業における集中力も高く、放課後は各研究室で先生方と問題に食らい付く粘り強さも見られ、学年目標である「自主他尊」がようやく形づくられてきたかなと思ふ毎日でもあります。



本番を目指して

明日に向かって一歩ずつ進む南三陸町の皆さんの大きさに心揺さぶられるものがありました。自分たちも目標に向き合い、明日の自分に見合う課題をこなしていくことが最大の支援であるとき誓いました。いよいよそれを具体化する時が来たのだなと思います。学年ではたびたび進路検討会を行い、生徒一人一人の現在を捉えながら、学習指導の体制を整えています。一人でも多くの生徒が第一志望に進むことができるよう、学校が一丸となり、切磋琢磨して「熱い冬」を乗り越えていこうと思います。

## 生徒の底力が発揮された夏

### 盛大に第57回松尾祭

「第57回松尾祭」が7月4、5、6日の4日間開催されました。今年のテーマは『手をあわせましよう！』。小林実行委員長の「一人がそれぞれの楽しみ方で楽しめる、手を合わせて協力して（料理のようにおいしく）ただ祭りにしたい！」という思いが見事に実現したのになりました。

とお世話になることもあるかと思えます。関東同窓会の末席にも加えさせていただきますが、その節はよろしくお願ひいたします。

3学年主任 加藤 尚也

ある構図と彩り豊かな世界観で堂々たる優勝でした。準備期間中はどこもテーマパークの裏舞台のような雑然とした中で授業が行われる日々でしたが、3年生ともなると最後に出るごみまで考えた制作の



## 松尾祭

### 3年1組アンデパンダン出品作品

工夫が見られ、感心させられました。

地道で主体的な努力が欠かせない準備の中で、次々と「やりたいんです！」と企画してくる様は、『試百難』の「難」が「楽」に見えるてくるぐらいのエネルギーで、生徒会顧問の一員としては圧倒されたり感動したり、忘れたい夏となりました。この底力があれば、これから先の受験も乗り越えていってくれるのではないかな、と期待しつつ、見守る日々です。

生徒会顧問 飯塚裕子



祭りをつくりあげた生徒会の「司令塔」たちによる閉祭式



## 北信越大会を終えて

### 男子テニス班

男子硬式テニス班は、新人大大会兼選抜高校テニス大会長野県予選で準優勝の成績を収め北信越大会に出場しました。この大会は団体戦だけの大会で、7人で戦うまさに学校対抗の団体戦です。北信越大会準々決勝では全国大会常連校である石川県金沢高校（石川県大会優勝校）を撃破、最終的に5位に入りました。来年3月福岡県で開催される全国大会へは4位までが確定で、5位については来年2月の選考会で実行委員会枠（全国から数校選出）としての可能性を



県大会で準優勝し北信越大会に出場

わずかですが残っています。これからも「試百難」の精神で精進を重ねてまいります。

男子テニス班顧問 菊池文明

## 全国選抜大会へ

### 弓道班 2年若林さん

「射形を意識して自分を信じてやれば必ず当たる」。本番前に心の中で必ずこの言葉を唱えてから試合に臨んでいます。東信大会、県大会、気付いたら全国大会への切符をつかんでいました。試合では集中していたので、はっきりとした記憶はありませんが、全国大会出場決定を自覚した時のうれしさと、顧問の先生や仲間、家族の喜んでいる表情は今でも覚えています。

弓道は1射1射にメンタルが大きく影響します。このような大舞台でも物おじすることなく自分の力を発揮するためにも、練習では日々大会を意識し、技術面、メンタル面をさらに強化し、射形がきちんとしていればおのずと当たる、という先輩の言葉や自分自身の経験を元に、最後まで自分の射形にこだわりを持って弓を引きたいです。

私を支えてくださる方々、環境に感謝して、全国大会では自分の持てる力を最大限に、またそれ



全国大会に出場する若林さん

上の力を発揮してきます。

弓道班2年 若林 亜美

※若林亜美さんは、2014年度長野県高等学校新人体育大会女子個人2位となり、15年1月10日から鹿児島県で開催される第33回全国高等学校弓道選抜大会に出場します。

## 60期 85人が集合 創設10年記念大会

5月18日、60期の同期会（「青春帰郷の会」）が85人が参加して、上山田温泉「清風園」で盛大に開催された。この同期会は2004年の創設以来2年ごとに開催され、今年が6回目で満10年を迎えた。

大会は、校歌斉唱、物故者の紹介と黙とうに始まり、実行委員



大好評の史跡案内バスツアー

長が3人の恩師（折井／井出／菱田先生）の紹介、卒業50周年寄付の贈呈の報告、母校の躍進著しい進学状況の紹介のあと、大宴会、クラス別2次会と続いた。

宴会では、初めて座席をくじ引きにし、各テーブルで新しい交友関係が結ばれるように工夫した。また、これも初となるビンゴ

の堀内泰君が史跡を案内するバスツアーで、今年もバスが満員となる好評だった。もうひとつは、ゴルフ大会で30人が日ごろの腕を競った。

なお、この同期会の企画・運営は、実行委員長と3人の副委員長および十数人の実行委員に、「終身幹事長」の丸山寿雄君が加わり、毎回スムーズな進行が図られる。今回は数百枚の写真をウェブ上に公開、誰でも自由に閲覧できる仕組みも初めて導入した。

第6回実行委員長  
竹倉征詞（60期）

eclat 税理士法人 エクラコンサルティング  
株式会社 エクラコンサルティング

資産税プロ集団 お客様の事業承継を成功へ導く

代表社員 税理士 田中 誠 (72期)

〒150-0013 渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル3階

TEL : 03-5447-6277 FAX : 03-5447-6278

http://www.eclat-c.com/



# 東海道53次の旅 (3)

## 宮の渡しから岡崎まで

かつては船で渡った、桑名から宮までの海上七里を前回、電車で通り、5月31日、名古屋駅から

七里の渡し跡へ向かった。宮の渡し跡は公園になっていて、湊には常夜燈と時の鐘(復元)が立っている。宮宿は、旅籠屋が248軒あり、伊勢参りの人などが大勢の旅人でにぎわったというが、往時の面影はない。

この後、東海道の旅を中断して、熱田神宮参拝、国宝・犬山城と名古屋城を見学してから鳴海宿へ向かった。

名古屋城は、翌6月1日に特別公開された復元・御殿の見学が主な目的。復元されたのはまだ半分だが、建築当時と同じ技法や素材を駆使して、伝統技術・技法を受け継ぎ残して行くのだという。工費の一部にするために寄付を募っていたので「上田高校64期東海道を歩く会」として一口(5万円)を寄付した。

東海道に戻り、鳴海宿に向かったが、34度の炎天下。東海道は中山道と違って、平坦な道が多く歩きやすいが、緑陰が少ない。熱中症防止のため、木陰があると小休

憩しながら歩いた。

鳴海宿は、所々に、旧旅籠屋らしき家が残るが、本陣跡は説明板のみ。所々に旧家が残る街並を歩くと、鎌研橋一里塚跡、すぐ先が有松宿入口である。

有松宿は、有松絞で有名で、広重の浮世絵にも描かれている。有松絞の製造は今も盛んである。

10月18日、有松駅に集合して池鯉鮒宿へ向かう。国道を1キロほど歩いた所にある桶狭間古戦場跡を見学。

阿野一里塚跡は道の両側に塚が残る希少な一里塚。何代目かの



熱田湊常夜燈にて

榎が植えられている。

逢妻橋を渡って、池鯉鮒宿に入る。入口の知立神社は東海道三社に数えられる。知立で宿泊し、翌日、岡崎に向かう。

池鯉鮒宿の江戸側には、両側に見事な松並木が続き壮観。この先の来迎寺一里塚は、道の両側に大きな松の木が植えられて残っている。

所々に東海道の松並木の松が散見される道を、秋の強い日差しの中を歩く。矢作橋を渡って、八丁味噌蔵通りに入り、岡崎宿入口で今回の旅を終えた。

(清水計枝 64期)

## 62期 温泉と列車の旅 8回目は台湾旅行

2007年から始まった62期の旅行は今回が8回目、3回目からは国外へ。中国大連、台湾、韓国、ベトナム、カンボジアと続き今回は再び台湾へ。名付けて「新幹線と特急列車による台湾一周と温泉巡りの旅」。各地の空港から台北空港に駆け付けた参加者は21人。台湾が2回目的のこともあつてか、やや少なめだったが、前回とはまったく異なったコースで新鮮な内容だった。

今回は台北を出発して4日間で右回りに鉄道で台湾を一周した。

今年日本から導入したと言う奇麗で派手な特急列車と2007年に日本の技術で開通した新幹線など計4回列車に乗った。列車での総移動距離は約900キロ。途中の宿は知本温泉と北投温泉の高級宿。台湾は日本のように温泉が多いが、外国からの温泉旅行者は少ないそう。宿は混んでいるのに、台湾人には入る習慣がない大浴場はすいていた。宿では、アワビやマンボウなどの高級食材を使った台湾料理や広東料理に舌鼓を打った。鉄道以外の移動は大型バスだ。われわれの専用なのでゆったり座って、時間に縛られずに旅行ができた。今回も秋田勇君のコーディネートによる内容が充実した



八田與一ダムで

豪華な旅だった。われわれの旅の特色は、観光地だけでなく、一般のツアーでは行かない場所にも行くこと。今回は、かんがいダム烏山頭水庫を建設して、台湾で恩人とされている金沢出身の八田與一の功績を現地で学んだ。

来年も4日ぐらいで行ける外国ツアーを秋田君が計画してくれるという。62期の皆さん、ぜひ参加して、楽しい旅をしましょう。

片山隆行(62期)

## 上田でオールロケ 2月公開 映画「サムライフ」

千曲川に架かる赤い鉄橋や上田わっしょい祭り。古里の情景が随所に登場する映画『サムライフ』が2月に公開されます。上田に住む元高校教師の青年が4人の仲間と協力、不登校や引きこもりの若者たちのため自立支援の「学校づくり」に奮闘する実話を基にした青春群像劇。主演は若手スター三浦貴大で、新進の森谷雄監督により上田でのオールロケで制作されました。

信州上田フィルムコミッションなどが製作委員会を作り、東京上田会も支援。同窓生の皆さん、ぜひ鑑賞して応援してください。

宮島光男(55期)



## 61期 36人が古希祝う 母校に記念品

61期は、1963年3月に卒業して以来、昨年50周年を迎えまして。この機会に記念事業として、母校に記念品の贈呈と同期生による懇親会を計画してきました。2月から寄付金の募集を行い、5月末に母校の要望による大型スクリーンとプロジェクター、進路希望実現支援基金を贈呈しました。同期の皆さまには、過分なるご寄付をいただき誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

10月3日には戸倉上山田温泉で古希のお祝いも兼ねて懇親会を開催しました。30周年記念後、20年



20年ぶりの懇親会

ぶりの集まりで、県内外から36人が参加しました。物故者に黙とうをささげ、校歌を高らかに斉唱して旧交を温めました。

参加者1人2分間スピーチで近況を報告しました。出欠の返信用はがきの「なんでも通信欄」196人分をコピーしおくりを作成。欠席者の様子も分かるようにしました。皆一生懸命生きてきたことや在学当時の面白いエピソードもあり、和気あいあいの楽しい一夜でした。地元では今も月例会やゴルフコンペで親睦を深めています。

美斉津幸経 (61期)

## 62期 上田で同期会 卒業50周年記念

62期は今年が卒業50周年、6月4日にそれを記念して上田東急インで同期会を開催した。同期卒業の仲間92人が全国から集まり、遠くは北九州からの参加もあった。関東からは38人参加した。クラスごと用意されたテーブルでは、高校時代の思い出話など談笑の輪が広がる。輪はさらに大きく、通学仲間や、班仲間など会場全体に広がった。

既に同期では46人が冥界に逝ってしまったが、来年度は皆が古希

を迎えることになる。年は忘れ、校歌、凱歌を全員で元気な声で斉唱。あつという間に中締めとなり、お互いに再会を約しお開きとなった。出席者の約半数は翌日ゴルフコンペに臨んだ。

さらに50周年記念として、記念文集を発行、母校には期として篤志寄付を行う。関西同窓会の飛田武昭君からは、岐阜長良川の鶴飼に來ないかと誘いがあり、8月下旬関東からの14人を含む30人が、篝<sup>かき</sup>火の燈下で交流を深めた。

栗山正雄 (62期)



卒業50周年の同期会に92人が上田に集った

## 依田欣五郎さんが優勝

### 62期の秋季コンペ

秋晴れ、無風、気温最適の好コンディションの下、62期第47回の秋季コンペが埼玉県美里ゴルフ倶楽部で開催されました。幹事は市川和正さん(3組)と松沢征太郎さん(1組)、参加者は28人と和気あいあい。一打ごとに一喜一憂しながら、楽しい一日を過ごしました。アンダーパー9人の激戦を制して、5組の依田欣五郎さんが見事優勝、喝采!

卒業50年を迎え、それでも会えば瞬時に学生時代に引き戻され、懐かしい会話となることはスコアの出来栄えに関係なく、互いに刺激し合って活力をいただけることも集まりに参加する楽しみとなっています。

本コンペは62期にちなみ毎年6月2日(春季)と秋季の2回開催。懐かしい旧友に会えることを自分への褒美としてたくさんの方の参加を願っています。

2015年春季コンペを田口象二郎さん(2組)と滝沢伸吉さん(5組)を幹事として予定しています。万障お繰り合わせの上、ご参加ください。

小林圭一 (62期)

## 63期 4時間の長丁場 恋愛話の披露(?)も

9月13日秋葉原ワシントンホテルで63期同期会を開きました。海外からキャリアバッグを引っ張って参加する人、アメリカから帰国したばかりで時差ボケの人といる人がいました。上田からも数人が参加し、41人のにぎやかな集まりになりました。

恒例となった1次会、2次会を分けて実施する4時間の長丁場でしたが、近況報告では、今更であまり話題に上がらなかった結婚のスタイル(お見合い、恋愛など)やいきさつのお披露目話をとという提案がありました。今更と違った切り口で、発表者の意外な側面も見え、1人も帰ることもなく時間を忘れて盛り上がりました。

場所を変えての2次会は近くのバーを貸し切り、半数以上の25人が参加する大カラオケ大会となりました。いまさらですが、ますますの仲間の元気に驚くばかりでした。

来年は卒業50周年記念同期会を信州勢と合同で、上田で行うとの計画をお知らせし、さらに希望者はその前に忘年会を提案して散会となりました。

林 壮司 (63期)



# 65期 卒後50周年は上田で 2016年の同期会

関東同窓会の65期は日ごろから活発な同期会活動を行っている。年2回の同期会をはじめ、ゴルフコンペ（年3回）、テニス同好会（年2回）、JRA同好会（府中の競馬場VIPルームで競馬観戦）、埼玉の史跡を歩く会等々盛りだくさんで、これらはすべて65期ホームページに報告が掲載されている。

65期の同期会が9月13日（土）、



浅草橋近くのピアレストランで

10月23日夕刻から、上野の焼き肉店で初めての同期会を開きました。参加者は男性10人、女性5人。卒業から43年、還暦を越え、退職した人、いまだ現役の人、それぞれの人生を身体に刻んで「素敵な顔」の皆さんが集いました。卒業以来の再会だったり、高校時代には知己がなかったりでも、瞬間に和やかな空気が流れ、気持ちは

## 69期 初めての同期会

上原昇（65期）

近況報告では原田義則君の錦織圭選手活躍で沸いた全米オープンテニス観戦レポートが注目を集めた。永遠の応援団長・西村賢治君のリードで校歌を斉唱した後、上田在住の童話作家・神田愛子さんの中締めでお開きとなった。



脚だけですが後ろは西郷さんの像

高校生に戻って食も話も弾んで楽しいひと時を過ごしました。これから少しずつ同期の人の輪を広げて、実行委員担当期となる再来年（2016年）の総会を盛況に導こうと、みんなの気持ち一つになって、一本締めでお開き。その後西郷さんの銅像の前で記念撮影となりました。今回は、6月の総会に参加したメンバーを中心にメールで誘い合って集まりました。スタートラインに立ったところですが、これから同期の仲間が緩やかにつながっていききたいと思います。

## 69期クラス会

### 4組「機智会」開催 同級会ついでいよいよ

池田有美子（69期）

6月28日（土）曇天、夜半雷雨、翌日晴天（まるでドラマチックなわれわれの人生？）、総勢48人中（内故人1名）20人が参加して5年ぶりに機智会（4組の同級会の名称）が別所温泉「上松屋」で開催された。卒業以来43年ぶりの再会となったクラスメートも多くいたが、顔を合わせた瞬間、つい先週別れたばかりという感じでお互い高校生活を懐かしく語り合い旧交を温めるひとときとなった。

会は東御市在住の深井秀雄君の司会の下、4年前に他界された恩師の安江昭祐先生、今年初めに亡くなられた同級生1人のご冥福を祈る黙とうで始まった。歓談後、参加者が順番に近況報告した。現役でまだ活躍中の諸兄、退職後果実栽培に専念する者、趣味や資格を活かしてのセカンドキャリアを模索中の者などから多方面の興味ある話が聞けた。宴会中はもちろんのこと、露天風呂に漬かりなが

らも「やっぱり同級会ついでいよね」という声多数！参加者の幸福感度計が高い値を示したことは間違いない。

翌早朝、宿の近くの北向観音に出向き2年後の再会を願いながら手を合わせていた仲間もいた。今回の機智会は2016年開催に決定。今回、参加いただけなかった方にも、お目にかかれることを祈っている。

桑原邦寿（69期）



別所温泉で5年ぶりのクラス会



# 会員短信

総会への出欠はがきより

37期 岡 清助

第1回より出席し、最近はおどろきとなる。もはや同期健在は幾人なるや。在京知る範囲で3人くらいか、在郷も2人の外は音信なし。盛会を祈る。

38期 小林直樹

10月初旬に満93歳を迎えました。足が若干不自由な事を除けば、まあ元気だと言っていていいでしょう。憲法関係の領域ではまだ為すべき仕事が残っているので、馬鹿にむち打つてもう少し頑張るつもりです。

40期 児玉安彦

昨年満90歳を超えゴルフを止めたのですが、元気でパソコンで遊んでおります。

42期 木内俊一

区長10年、老人クラブ会長4年。今は囲碁、庭の手入れ家庭菜園などで楽しんでます。

43期 保刈大治

3月には米寿を迎えます。内科的にはいたって元気ですが、外科的には圧迫骨折で半年以上治療を続けています。

47期 上野平八郎

よたよたしながらもどうか生涯

きています。ご盛会を祈ります。

47期 窪田富男

10年前の病気の後遺症で不自由になったままです。デーサービスなどでリハビリに努めています。

49期 風間 充

83歳になりましたがつつがなく過ごしています。

49期 鶴見慎一郎

地元で元気に動き回っています。

49期 樋村晃一

高齢になり1人で遠出が厳しくなりました。

50期 井出藤壽

私も年会費免除の年齢になってしまいました。会合には出られなくとも情報は大変ありがたく、これからも会報をよろしくお願い致します。

51期 内久根孝一

毎日新聞社主催の「全日本アマ本因坊戦」で本年は多忙。欠席すみません。

51期 黒川嘉郎

1月5日に始まった本年のボートごぎ生活。4月27日の対校戦、学生6連勝、われわれ75歳以上のエイトも3連勝と、幸先の良い年

寄付者/寄付グループ (2014年4月1日~9月30日)											
期	氏名	金額(円)	53	塩野入 剛	4,000	64	村居次雄	2,000	68	小林 誠	1,000
38	小林直樹	10,000	53	樋川光彦	10,000	64	荒井裕司	10,000	68	山浦 雄一	10,000
40	児玉安彦	30,000	54	藤村延魚	10,000	65	丸山暢久	2,000	69	倉沢 裕	2,000
40	荻原 愈	10,000	56	笹沢政道	2,000	65	上原 昇	4,000	69	荒木由美子	2,000
44	竹越 教	2,000	58	寺島知恵子	4,000	65	宮原 豊	1,000	71	和久津智恵子	2,000
44	滝澤源平	2,000	60	白井 透	5,000	66	清水通男	2,000	72	渡邊温子	6,000
44	高橋昭平	4,000	60	福嶋 宣	10,000	66	田口 博	2,000	72	田中 誠	16,000
46	清水巻郎	2,000	60	羽毛田信	1,000	66	大倉洋一	1,000	75	小泉行徳	1,000
47	豊城 乾	10,000	60	日置勇二	50,000	66	秋山信吾	2,000	77	黒澤太平	1,000
47	牧内 操	10,000	61	滝澤 進	10,000	67	小松康夫	2,000	78	渡邊 博	4,000
47	上野平八郎	1,000	61	笠井徳爾	5,000	67	石田清典	2,000	79	山口 博	2,000
47	三浦嘉治	3,000	61	成沢文計	4,000	67	熊坂文成	1,000	81	毛利元晶	10,000
48	大平 暁	2,000	61	西澤正捷	2,000	67	中村和俊	1,000	82	西澤知樹	2,000
48	峯村千徳	5,000	62	高梨奉男	10,000	67	小林 暁	1,000	82	柳澤千秋	2,000
48	吉村 功	2,000	62	片山隆行	1,000	67	川村行徳	2,000	100	田中篤志	1,000
48	堀内道夫	2,000	62	依田欣五郎	1,000	67	小林正文	2,000		67期有志	30,000
49	鶴見慎一郎	2,000	62	秋田 勇	4,000	67	高木和幸	2,000		上映会時有志	30,000
49	翠川 輝	2,000	62	松井由美	2,000	67	高木信一	2,000		有志	1,500
49	前田芳造	2,000	62	川上千秋	2,000	67	丸山博見	2,000		合 計	425,500
49	大石和夫	1,000	62	柄沢 堯	2,000	67	大工原 親	2,000			
50	井出藤壽	5,000	62	小田 実	2,000	67	松崎秀樹	2,000			

Outsourcingの知識集団

## 株式会社 fellow

取締役社長 古畑克巳 (69期)  
(公認会計士)

東京都千代田区内神田1-18-11 東京ロイヤルプラザ1109号  
TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005  
<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

株式会社オプティム **Optim**  
THE HUMAN COMMUNICATION

柔軟な発想と夢への挑戦  
IT化社会を支えるサービスを提供します

代表取締役 羽田 平 (75期)

〒171-0022 豊島区池袋2-33-6 佐藤ビルディング3F  
TEL 03-5985-7281 FAX 03-5985-7780  
[www.optim-net.jp](http://www.optim-net.jp)



となった。現在、招待レースの週1の練習中。

53期 小林乾泰

松原氏の「宇宙の外側」には大変興味を引かれ2、3回読みました。講演を伺いたいのですが、残念ながら3月がんが発見され、9時間にわたる手術を受けました。回復は順調です。

53期 飯島秀也

5月28日、29日と8組の同級会があり15人が参加。磯部温泉では宴会が盛り上がり、引き続き幹事の部屋で話に花が咲き、カラオケの時間なしでした。

53期 服部聰一郎

松原さんの講演を楽しみにしております。新年会の前田さん方の箏は楽しい曲ばかりで初心者も心から味わえました

54期 寺島重暉

喜寿を迎え年齢相応に元気です。近所の光が丘公園での野鳥撮影に精を出し、2年間で62種類の野鳥を撮影しました。

54期 藤村延魚

2年ほど前、松原隆彦先生の「宇宙に外側はあるか」を読ませていただきました。文系の私の理解では宇宙の外側があるのか、ないのかが読み解けませんでした。講演を楽しみにしております。

54期 沓掛文哉

HNK大河ドラマ「真田丸」の放映が決まった。それまでは何としても生きていようと思う。それをクリアしたら、その4年後の東京オリンピックか。

55期 坂口宏明

週1ゴルフをやっております。

56期 小平節夫

家内介護の為、大部分の事業とボランティア活動を中止しています。

56期 田村 功

昨年は欠席しましたが、今年は皆さんと歓談したく出席します！

60期 松井石根

滝澤会長、役員の方々がご苦労さまでした。会報を見て後輩の活躍、大変勇気をもらいました。尊敬する先輩や多くの分野で活躍する同期や後輩、上田高校は心のよりどころとなります。

60期 矢嶋邦夫

5月末からフランス、スイス、ドイツを旅行してきました。モンサンミッシェルが大変印象に残りました。

61期 笠井徳爾

「宇宙に外側はあるか」を読みました。講演を楽しみにしております。吹奏楽も楽しみです。

62期 関 祥行

月々金は東京、土日は上田の生

活を送っています。

62期 甲田充彦

現役やっています。教員養成です。

62期 富田光明

東京千代田区九段でささやかな画廊「東京九段輝画廊」を営んでおります。近くにお越しの折には、ご来店下さいませ。

62期 松山 武

吹奏楽団の出演、楽しみです。

62期 岩井重一

会報88号を拝読いたしました。法曹界と一緒に活動していた村越進弁護士（67期）が全国会員と多くの単位会の支援を受け、日弁連会長に就任したことは本当にうれしいかぎりです。

63期 山極真咲

今年からコンサルタント業を開始しました。都内で歴史探訪の会の代表をしております。

63期 佐伯謹吾

仕事、ゴルフ、菜園、カラオケ、自転車、フルーツを従え高齢者街道ばく進中。

64期 小野沢常裕

退職後、田舎へ戻り農業やっています。関東同窓会を応援していますよ。

64期 荒井裕司

2005年10月に上田市西塩田地区に開校させていただきました。さくら国際高校はお陰さまで

10周年を迎えました。地域や地元の方々と、同窓会の皆さまのご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

64期 北原巖男

相変わらず大きな夢と楽観主義で元気にワクワクしながら東ティモールしています。

65期 滝川幸子

6月29日は「民話のつどい」で、昔話の語りと紙芝居を上演することになっています。残念ですが欠席とさせていただきます。

66期 柳澤公雄

会報88号の記事が多彩でしかも充実した内容。読み応えがありました。同窓生の活躍に励まされる

66期 荒井秀人

秋に上田の方へ引越す予定です。

66期 市川 孝

同窓諸氏の活躍の様子を伝える会報を読み、大きなエネルギーを頂いています。村越氏の高校時代、とてもさわやかな印象を想起しました。

66期 土屋徳芳

初めて参加させていただきました。

66期 田口 博

5月で65歳。年金をいただくこ

お客様に夢を 社員に夢を 地域に夢を

別所温泉 一人旅の宿 **上松屋** 心の自由劇場 HEART THEATER

社長 倉沢 章 倉沢 裕 (69期)

信州 / 別所温泉・政府登録国際観光旅館  
〒386-1431 長野県上田市別所温泉 1628 番地  
TEL.0268-38-2300 FAX.0268-38-8501

旅行代理店 **(株)トラベル・アイ** 永年のキャリア 信用と誠実第一

旅のことならなんでもお気軽にお問い合わせください

渋谷区東 3-17-11-301

TEL (03)3442-4381 (代)

代表取締役 **秋田 勇 (62期)**

### 同窓生の新刊本

この欄では同窓生の皆さんが最近出版した本を掲載しています。紹介したい新刊図書がありましたら、左記のメールアドレスにご連絡ください。

matsu-letsu@m01.itscom.net  
(定価は外税)

「3・11後の日本のために」

青木矩彦 (54期)



近代文藝社  
1800円

3・11の大地震、大津波、その後の福島原発事故。東北を何度も訪れた著者、宮沢賢治の立ち位置を共有し混迷を開く道を探る。

「宇宙人に会いたい」

平林 久 (60期)



学研教育出版  
1300円

宇宙人は本当にいるの？アルタイル星に電波でメッセージを送ったJAXA名誉教授が、宇宙と生命について語る。

「大規模構造の宇宙論」

松原隆彦 (83期)



共立出版  
2000円

宇宙観測の飛躍的な拡大で思索の対象から実証科学へと変貌を遂げた宇宙論。宇宙の大規模構造を用いた研究を基礎から解説。

「緑のダム」の科学」

保屋野初子 (74期) 共編



築地書館  
2800円

森林機能による「緑のダム」に関する科学的知見の前進、各地で始まった実践と政策的課題について第一線の研究者が解説。

「先哲・石田梅岩の世界」

清水正博 (67期)



新風書房  
500円

江戸時代の思想家、倫理学者で、石門心学と呼ばれる思想を京都の町民に説いた梅岩の真価に注目した筆者が分かりやすく紹介。

とになりました。週3日の勤務にしてみたい現役を続けています。

77期 黒澤 太平  
太田市で病院の回復期リハビリテーションを担当しています。脳卒中でまひが残った方のリハビリのご相談に応じます。

67期 熊坂文成  
セミナーアシアしていますがそれなりに多忙です。初めて参加させていただきます。今からワクワクしています

「学校を変えれば社会が変わる」  
信州からの教育再生」

竹内延彦 (83期) 共編



東京書籍  
3000円

68期 清水 (旧姓中山) 猛  
まだ元気で働いております。

71期 高木 繁  
来年3月で定年退職を迎えます。若気の至りで3回転職しましたが、最後の職場で定着することができ、ようやく定年を迎えられ感謝しております。

75期 一之瀬康利  
海外 (特に東南アジア) でのビジネスに取り組んでいます。

76期 土屋久幸  
今年の大学入試、後輩たちの頑張りで県内公立校トップの成績とのこと、うれしく思います。

「認知症を知る」

飯島裕一 (64期)



講談社現代新書  
800円

「信濃毎日新聞」の家庭記事、医療記事を30年近く書いてきた著者が、記者と患者家族の両方の視点から認知症について書いた。

## 吹奏楽団OB会「松奏会」

しょうそうかい  
会員相互の親睦、現役吹奏楽団への支援  
地域音楽文化発展への貢献を目指します

会長 百瀬和紀 (58期) 幹事長 中村真一 (62期)

事務局 Mail: uedahi.wo.obog@gmail.com  
HP: http://uedahswoobog.web.fc2.com

天然酵母田舎パンの店

## ルヴァン Levain

ふるさとへ帰って来たら  
ぜひ立ち寄ってください

オーナー 甲田 幹夫 (65期)

富ヶ谷店: 渋谷区富ヶ谷 2-43-13 TEL 03-3468-9669  
信州上田店: 上田市中心 4-7-31 TEL 0268-26-3866



ソフトウェアの

## システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男 (66期)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-1 サンフジビル 5F  
TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836  
URL http://www.s-giken.com



# 横山誠之助さん逝去



元 関東同窓会会長  
の横山誠之助さん(42)

期)が11月5日、89年の生涯を閉じられた。横山さんとの出会いは、2002年の7月、私が関東同窓会幹事長に任命された時であった。30〜40期代のそうそうたる「ガ」ンコおやじのごとき大先輩が数多くおられ、総会、幹事会の時など、息の詰まる思いがしたものであった。

そんな中で、当時相談役だった横山さんは、おやじというより「一番年上の兄貴」といった感じで、会議が行き詰った時など、スバツと明快な発言をされ、助けていただいたことがしばしばあった。総会に母校から、室内楽班を招きたいと提案した時、費用面で行き詰ったが、一言、運営基金(利子)を使ったらどうか、とアドバイスしてくださいと、初めて現役生の総会参加が実現した。

た。まさに「頼りがいのある兄貴」といった「大先輩」であった。心よりご冥福をお祈りします。

成田邦夫(56期)

## 中村禮三さんをしのぶ

2014年10月5日、中村禮三さんが逝去されました。上田中学32期生、享年98歳、おそらく同窓生では最高齢でしょう。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

中村さんは信州を、上田を、上田中学をこよなく愛された郷土愛に篤い方でした。1885(明治18)年に上田出身の若き学生たちが立ち上げ、今も連綿と続いている上田郷友会の運営・発展に心血を注いでいました。郷友会の毎月の例会を楽しみにされ、足を骨折された96歳まで、お子さま方の介添を受けながらも出席しておられました。

中学時代は野球部に所属し、その後は上田球友会の設立の中心となつて生涯上田高校を応援し続けました。大変な勉強家で、まさしく博覧強記の人でした。特に歴史関係には造詣が深く教えられました。これらの一端は、80歳のときに上梓された「郷友の散歩道」でもうかがい知ることができます。今年お見舞いにお伺いしたとき

も、話される内容が完璧で、まさしく生涯現役の人生を過ごされた。大先輩の「100歳の辞」を拝聴できないことが大変残念です。合掌。

浅野井 恭(53期)

## 宮下俊夫さんをしのぶ

2014年度第2回幹事会(9月25日)で、6月28日に89歳でお亡くなりになったとお聞きしびっくり。昔世代の先輩としては背も高く、いつも飄々としたお姿が、つい最近のように思われます。41期の期代表幹事として幹事会にはよく出席され適切な意見を述べられました。

松尾倶楽部の例会講演会も熱心に聴講された勉強家でした。勉強といえば、郷土史の研究にもご熱心で、特に上田市については特別な思いがあったようです。数年前、君も上田市のことを知っておくようにと、文化・教育・産業経済・歴史など多岐にわたる上田市誌(平成14年10月1日刊行30冊)を譲り受けました。刊行年はやや古いですが、ご入用の方はぜひお申し出ください。有効に使っていただければ、宮下さんもさぞお喜びかと思えます。謹んでご冥福を祈念申し上げます。合掌。

馬場武彦(54期)

## 心よりお悔やみ申し上げます

32期	水野利男	2014.1.31	47期	小山和弥	2013.9	59期	森正夫	2014.5.20
32期	中村禮三	2014.10.5	48期	山下正雄	2013.10.1	59期	栗林義次	2013.5
33期	中沢亮太	2013.9.30	48期	堀内哲郎	2014	59期	柳沢孝彦	2014.4.15
35期	大井卓雄	2014.7	48期	堀内恵三	2013.8	59期	田村功勳	2014.10.1
36期	清水孝尚	2014.10.28	48期	堀内惇一	2014.11.8	61期	饗場英昭	2011.8.8
37期	清水志郎	2013.7	50期	原原賢久	2012	61期	齊藤修靖	2014.6.3
40期	森博司	2013.9.8	51期	青島昭忠	2014.4.27	61期	武藤勝美	2013.12.30
41期	宮下智義	2014.6.28	51期	田村忠秀	2014.1.11	62期	土林眞	2014.2.27
42期	中村誠之助	2013.11	51期	中村光彦	2014.7.30	62期	小栗山	2013.12
42期	横山誠之助	2014.11.5	53期	樋川光彦	2014.2.12	65期	栗山達雄	2014.4.16
44期	竹越教	2011.3.30	55期	山崎武	2012	68期	横山茂喜	2014.2.15
46期	細川教	2014.1.6	57期	竹花正博	2014.2.3			

## 訃報

## 編集後記

「いまだきこんな紙の会報を大量に配って。ネットでも十分」。自宅に届いた大学の同窓会誌に対する友人夫婦の反応だ。▼これまで縁のなかつた

同窓会の会報の編集を、「断り切れずに」引き受けた直後だった。「紙面の良さもあるからさ」と強く反論もせずやり過ごした。▼そしてこの2か月。その「紙面」と格闘している。通信社勤務だったので、必要な記事をピタリと紙面に収める新聞社の整理マンを見て感心していたが、レイアウトを自分でやってみてその大変さを実感している。▼そして原稿の量。紙面が埋まらなかつたらどうしようとかあちこちお願いして、書いてくれる人を探した。結果的に紙面からあふれることになりうれしい誤算。感謝しながらも大幅に削つたり、会員短信を大量に割愛したりと、申し訳ないことになってしまった。お許しいただきたい。▼何よりも大変だったのはレイアウトソフト。まさに「未知の世界」。印刷所への入稿を翌日に控えた今もまだ格闘している。会報は皆さんや周辺の活躍や近況を知らせる重要な手段。情報をお寄せいただきたい。

松本哲夫



## 世界小児先天性心臓外科学会会長 黒澤博身さん（60期）



7月に世界小児先天性心臓外科学会の会長に就任した。会のビジョンは極めてシンプルだ。「いかなる場所で生まれた子どもであっても、心臓病がある場合には適切な治療が受けられるようにしよう」

2004年、会員として参加した米国胸部外科学会で、集まった仲間から「生まれながらにして心臓病を持ちながら適切な治療を受けていない子どもが世界にいっぱいいるはずだ。適切な治療を提供できる会を作ろう」という声があがった。

約200人が発起人となり、2006年、モントリオールにアフリカの医師にも集まってもらい会議を開いた。心臓病を持って生まれる子どもは世界で年間100万人から200万人。このうち現代の適切な治療を受けているのは10%だけで、不十分ながら治療を受けている子どもは40%。半数以上の子どもが治療を全く受けていないという実態が見えてきた。ビジョンの実現には医師を含めた医療従事者の育成が必要だということになり、第1回世界大会が2007年にワシントンで開かれた。

第2副会長、第1副会長を務めた後、サンパウロの第4回世界大会で会長に。任期は2年。ちゃんと子どもの心臓手術ができる外科医を育てるのが当面の課題。そこに向けて開く2015年2月のコロンビア、11月の京都での地域会議、2016年のアラブ首長国連邦アブダビでの世界大会のプログラム作成と資金集めの援助が会長としての主な任務だ。

専門は「刺激伝導系」と呼ばれる心臓の神経。40年間研究してきた。心臓に通る一本しかない神経が、心臓の発達や、病気によって位置が全く変わってしまう。目には見えないこの神経のある場所を正確に推定することが手術には不可欠という。このテーマで研究している医学者はほとんどおらず、各国から講演の依頼が相次ぐという。2013年に医師の人生で「最大のエポックメイキング」が起きた。オランダ留学中に、上司と先天性の心臓病の刺激伝導系の特殊形態について書いた本が、ドイツの医学書で有名な出版社「スプリングァー」から160年間に出版された何十万冊の中の40冊に選ばれた。「本当に驚いたが評価されたことはうれしかった」

日本の医療は最高のレベルにあり、すべての先天性心臓病の子どもが適切な治療を受けている10%に入っているという。物静かに語る口から、会のビジョンについての言葉が繰り返して出る。「私たちはこれまでアメリカやイギリスなどから教えを受けてきた。それを返していく義務もある」「子どもの心臓手術ができる外科医を育てていくのが当面の課題」

出身は現在の佐久市。中学時代は「ス

ピードスケートをめちゃくちゃやった」が、高校ではスポーツは何もしなかった。「その分勉強をしていたわけでもないんですけどね」。母が医師だったこともあって「なんとなく医学部を選び」東北大に進んだ。大学に入ってから「心臓にもので興味を持つようになり、この道に入った」という。大学ではスキー、スピー



会長就任演説する黒澤氏  
（7月、ブラジル・サンパウロ）

ドスケートとボートに打ち込んだ。ボートでは岩手県の高校のコーチとして国体に4回出た。コーチは東京女子医大に勤めた後も1年間続け、毎週東京から通ったという。

名誉院長として、東京駅を見下ろすビルクリニックに週2回勤務する。月に1回、上田市の介護施設を会議と診療のため訪れる。「赤ちゃんだけでなくお年寄りも診察できて勉強になるんですよ」と世界が舞台の会長が「お医者さん」の顔を見せた。

### ホームページをご活用ください

関東同窓会のホームページ (<http://uedakant.sakura.ne.jp>) には1日平均、約30件のアクセスがあります。IT推進委員会経由で関東同窓会の活動や会員の動向などの頻度の高い情報発信を心掛けています。「皆の掲示板」や「会員の意見交換の広場」欄を開設して会員の皆さま自身による情報交換も可能なように作られていますので、ぜひご活用ください。